

9月の野菜の見通し

令和元年8月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,201	少ない	11,924	115	87%	116	4	0	北海道産は8月の高温の影響で品質低下が見られ、正品率が低い。8月下旬までは堅調相場が予想されるが、9月は品質も好転して数量は十分な出回りの見込み。9月は北海道フェアが開催され、これまでより荷動きが良くなることが期待される。見通し単価(100円)は前年、平年より大幅に安い。
キャベツ	16,780	平年並み	16,426	78	103%	110	4	0	群馬産は現状では生育が悪く本調子の出荷量ではないが、徐々に回復し9月上旬にはピークとなる見込み。見通し単価(80円)は前年並みだが、平年比では大幅に安い。
ねぎ	4,114	少ない	4,701	429	86%	352	297	7.2%	北海道、東北産は平年並みの出回り予想。9月上旬は学校給食のスタートで太物中心に需要が増える見込み。下旬は例年どおり稲刈りに向けた作業で出荷量が落ち着くだろう。見通し単価(370円)は前年よりも安い。平年比ではやや高い。
きゅうり	6,719	少ない	7,221	395	81%	342	267	4.0%	東北産は成り疲れや正品率低下により8月下旬は堅調相場であった。9月に入ると高値反動や、関東産の増量で相場は落ち着いてくる見込み。見通し単価(320円)は前年より大幅に安く、平年比でも若干安い。
なす類	2,738	少ない	3,067	443	87%	393	4	0.2%	8月下旬までは潤沢な出回りで軟調相場。9月に入ると成り疲れが出て数量が減少、相場上昇の見込み。予想入荷量は前年、平年並み。見通し単価(310円)は前年より安い。平年並み。

9月の野菜の見通し

令和元年8月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
トマト	6,475	平年並 み	7,132	500	80%	428	87	1.3%	北海道、東北産等夏秋物は8月に多く出たので、9月になると数量が落ち着いてくる。関東産は生育順調。全体量は、少なかった前年よりも多く平年並み。8月の安値基調を脱して相場は上向くだろう。見通し単価(400円)は前年より大幅に安く、平年比では若干安い。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)